

# いのちのふる里

沼津芹沢光治良文学愛好会 会報

2025年7月

巻頭寄稿	企画展「光治良の戦争と平和－『サムライの末裔』－」について	剣持直樹 p.1	<i>Impressions</i>	会員の所感・近況	p.2
特別寄稿		高田博次 p.2	2024年度	活動報告	事務局 p.7
			2024年度決算、2025年度予算		事務局 p.8

## 巻頭寄稿 剣持 直樹さん※

### 企画展 「光治良の戦争と平和－『サムライの末裔』－」について (注)

(注) 本稿は、沼津市芹沢光治良記念館「令和7年度企画展」の紹介です。ぜひ当該展示を見学いただきたいと思います。会期中、学芸担当の剣持直樹氏による展示説明会もあります。どうぞ同記念館にお越しください。(編集事務局)

本年は戦後80年という節目の年を迎えました。そこで、当館では表題の企画展を6月13日から11月30日まで開催しています。

芹沢光治良は、終戦から5年後の昭和25(1950)年、日本ペンクラブの一員として、川端康成らとともに被爆した広島を訪問しました。そこで見聞したことを小説にして世界に発信すべく、後に「一つの世界－又はサムライの末裔」(初出：『婦人公論』昭和27(1952)年10月号～昭和28(1953)年10月号)を発表しました。

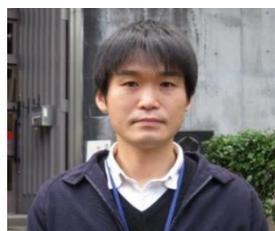
本展示では、この作品を中心に、太平洋戦争終戦前後の日本、沼津、そして光治良に起こった出来事や、平和に対する思いを記した作品等を紹介しています。

展示のみどころとして、アメリカの作家であるアイラ、エディタ・モリス夫妻からの手紙や広島在住の文筆家・田辺耕一郎からの手紙といった初公開資料7点を展示しています。モリス夫妻は、昭和30(1955)年に広島取材し衝撃を受け、後に被爆者の保養施設「広島憩いの家」を設立しました。また、田辺は、その管理人を亡くなるまで務めました。

いずれの手紙も、光治良が被爆者や「広島憩いの家」へ支援をしたこと、モリス一家と家族ぐるみで交流した様子等が記されている貴重な資料です。会場でご覧頂ければ幸いです。

また、会期中の関連イベントとして、8月24日(日)は、「(静岡)県民の日」を記念して当日は観覧料を無料とし、展示説明会を11時15分、15時15分から約30分で全2回開催します。ぜひこの機会にご来館ください。

最後に、拙文掲載の機会を頂いた沼津芹沢光治良文学愛好会代表・不破久温様をはじめ、関係各位にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。



※けんもち なおき

沼津市教育委員会事務局文化振興課  
沼津市芹沢光治良記念館 副主任

- 2005年 東北大学文学部人文社会学科卒業 (博物館学芸員資格取得)
- 2007年 沼津市役所入庁
- 2009年 沼津市芹沢光治良記念館
- 2022年 同館副主任

特別寄稿 高田 博次さん

---



昨年の「いのちのふる里」では、「天上との不思議な対話」と題する1992.7.10号 週刊朝日のインタビューからはじまり、「われわれの永遠の魂が昇天後に帰る天上界の様子などについて」芹沢先生の歴史的な証

言をご紹介しました。

最初に前回の一部分を再掲します。

(記者) 不思議な小説を読んだ。芹沢光治良さんの新作『大自然の夢』(新潮社刊)。この世と、もう一つ別な世界との境界を96歳の作家は、時間と空間を楽々と超えてみせる。「私は正気。ボケているわけではない」。人の胸のうちを見透かしているような語り口だ。

(光治良)「いいえ、ここに書いたことはすべて事実でね。フィクションなんてひとつもないなあ」と。

今回は、神シリーズ全8巻の本質が、小説の形を借りた、「人類への福音の書」だったとしか考えられないことを申し上げます。

神シリーズの最初の3巻(『神の微笑』『神の慈愛』『神の計画』)をよく読めば、普通の小説ではあり得

ない不思議な様々なことが書き込まれていることが分かります。

光の天使ヨハネと魂の因縁(生まれ変わり)のある光治良先生が、親神に実際に出会い、その命令で、不思議な体験をもとに三巻書いたと述べておられる所があります。

\*同上書第12章 p.251

そして、

「この三年間、創作中に、神からいろいろ教えられ、不思議に、神の世界、死の世界等、未知の場面にも、実際に連れて行かれて、さまざまな体験をした。それは、私が若い日に、フランスで実証的社会学を勉強して、実証主義者だから、何事も納得させるのに、現実を実証するとのことだが、その神の人類に対する思惑と神の世界の素晴らしさや、人間誰でも関心のある死の世界等について、私はこれから、作品によって、人類に伝える責任と義務とを、強く感じている」と。同上 p.252 (1988年92才光治良)

今世で、天上界から不思議な光が差し込む魂の文学と天使のような稀有な作家に出会えた喜びを、改めてかみしめる終活中の昨今です。

(たかだ ひろつぐ 横浜市)

---

*Impressions* 会員の所感・近況

---

和田 萬理子さん

---



「サムライの末裔」は、光治良作品一番の衝撃の強い作品でした。人類史上最悪の原爆投下を受けた広島町の、人々の苦しみが胸にひびきます。

現在80歳以下の人に戦争の記憶はないでしょうが、ぜひ読んでほしい本です。

(わだ まりこ 沼津市)

**村松 和子さん** **大文字図書で読む**



視力が気になり、新聞をはじめ文字を読むのが大変となって参りました。

最近ではもっぱら図書館の大文字図書を利用しております。

多くのひとに読まれた代表作かと思われますので、ジャンル、著作に拘らねば、ほぼ満足致します。おかげで今まで馴染みのない作家との出会いも新鮮です。NHK大河ドラマ“べらぼう”の特設コーナー

もあり、テレビと共に江戸文化を身近に感じながら楽しんでおります。幸い、図書館は自宅より軽い散歩コースなのでありがたいです。

気力、根気が低迷しそうな今日ですが、「沼津芹沢光治良文学愛好会」のおかげで前向きに芹沢文学の読書時間を持つことができます。

(むらまつ かずこ 沼津市)

**芹澤 守さん** **光治良先生からの言葉**



先生の晩年の作品『神シリーズ』では、世間からの拒否があるかもしれないがと、自らの体験を作品に残している。全く「物言わぬ神の意思を文字に残す」原稿用紙を耕すお百姓の様な作業だった。九十歳を過ぎて、背中左側に湾曲し、ボールペンを持つ右手にはペンだこが出来ていた。一日生活する書斎は大きな机と本箱で仕切られたベッドがあるだけ。弱った身体を横たえるそのベッドで、天の將軍から修行を受けられ、血の出るような感覚と死の恐怖を味わう体験を与えられたと作品で教えられる。

私は二十歳の時、東中野のお宅で光治良先生から体験談をお聞きした。そのことは後の作品にも書かれているが、夜に赤衣の教祖が現れて、当時自身が心配していた四つの悩み事が全て解決したと聞かせていただいた。このことは、唯物史観的な私に実相の世界と存命の教祖の話を感じさせる出来事だった。私の心の向きが少し角度を変えたあと、数十年も過ぎて現象の世界は大きく変わった。今では私は高齢者になっている。まだ実相の世界は見れていないけれど、光治良先生の体験の作品を読んで、少しでも近づきたいと考えている。

(せりざわ まもる 沼津市)

**不破 公美さん** **他文化の理解と共生**



今年は光治良さんのフランス留学から百年ということで、私も愛好会の活動を通して、他文化との出会いと共生について考えました。6月の定例会で取り上げた「南寺」にも、主人公春田によせて、異文化の人々に接する光治良さんの謙虚な

姿勢が表れていて、興味深く思いました。他文化の理解と共生は簡単ではないと思いますが、これからも光治良さんの作品から多くのことを学んでいきたいと思っております。

(ふわ くみ 沼津市)

**山田 豊さん** **心に残る光治良先生の作品**



大河小説「人間の運命」にこんなシーンがあります。

中学校に入学した主人公森次郎は、国語・美術教師前田千寸先生に香貫山の頂上に連れていかれます。そして先生から

「こんなに美しい風景の土地はあんまりないよ。よく一望のうちに故郷をおさめて景色が美しいことをするんだな」と言われます。孤独と貧困で先の見えないなかで、一筋の光がさすことを暗示させるシーンです。

他の芹沢作品でも、富士山がこころのよりどころとして何度も描かれています。このときの香貫山からのふるさと沼津の景色が、生涯光治良の心に忘れられない記憶として焼き付いていたのだと思います。完全版「人間の運命」は18巻の長編ですが、読み始めから夢中になって、いっきに読んでしまいました

た。明治後期から昭和の終戦までの世界と日本情勢に、主人公森次郎の人生を絡めながらみごとに描かれています。読者はみな主人公森次郎の純粋な精神と、逆境にあってもくじけずひたむきに生きる姿に心が動かされるはずで

す。光治良は「この小説によって、私は人間の宿命を描くばかりでなく、私の世代に生きた証言を、後に来る人々に残したいと希っている」との言葉を記しています。人間が生きる意味や、人にとって一番重要なことは何かを、伝えたいということなのかなと思います。

私は「人間の運命」という素晴らしい作品に出会い、芹沢光治良先生から立派な証言を受け取ったことを有難く思います。

(やまだ ゆたか 沼津市)

**五十嵐 由子さん** **続けること**



思わぬ言葉を聴きました。

「芹沢光治良は全巻読みましたよ。」「光治良の文章が好きで・・・

『巴里に死す』に

始まって。」ピアニストの言葉でした。

昼間のクラシックコンサートへ出掛けてきました。沼津のイタリアンレストランでのピアノ演奏とメゾソプラノのカント。60人余りの客数で、盛況の楽しい会でした。ピアニストの彼は、30年余り、年に3・4回の独自のコンサートを、続けてきました。私はピアノの音が好きで、日本、海外の著名な奏者のリサイタルへも出掛けてきましたが、彼の演奏、音色はハイグレードだと思われます。ずーっと

ピアニストとして鍛錬の日々を送って来られました。光治良は、『分からなかったら5回読みなさい。』と娘の玲子氏に教示したという。そして、光治良自身『・・・かくて孤絶に生きてひたすらただ書いた』と記している。創作・芸術と向き合い永く続けることは、想像を絶する苦闘であろうと思われま

す。真摯で静謐な積み重ねは、確実に、後世に残るのではないのでしょうか。そして、なんと『愛の詩 io canto』など歌った彼女は、東京音大の教授だった芹澤文子氏の教え子で、沼津の記念イベントで文子氏の推薦で歌を披露したとのことでした。さりげなく弾いた、プログラムにはなかった、ショパンのバラードと傍の70代のご夫婦の佇まいが心に残っています。

(いがらし ゆうこ 沼津市)

折笠 公德さん

生成 AI の活用



現在、私は生成AI(以下AI)を駆使して『愛(AI)の街大月』活動をしています。目的はAIで大月を活性化し愛(AI)に満ちた街にするという志で、いろいろな機関や業種に対してAIの活用方法を啓蒙しています。エンジニアの自分にとって、もっとも適した手段であると思うし、とてもやりがいを感じております。AIは現在、いろいろな分野で爆発的に使い始められ、その進歩は目まぐるしいものがあります。ただし、最も注意しなければならないことはその解答はあくまでの参考情報として利用し、最後は人間の手で仕上げなければなりません。残念ながらAIには『心』がありません。このようなことを考える時、光治良先生の言われた「文学はもの言わぬ神の意志に言葉を与えること」が頭に浮かびます。「AIはものを言わぬ人間の意志に言葉を与えるもの」とはなりません。もし、現在に光治良先生が御存命ならば、AIに対しどんな思いをお持ち

ちになるでしょうか？最新のAI技術を使って創造してみます。(AIに光治良先生の全てを調査させて自分は芹沢光治良と思わせます。その後、質問をしてみます。)

「光治良先生、現在のAIについて「文学はもの言わぬ神の意志に言葉を与えること」の観点からどう思われますか」そのお答え「自在のAIが膨大な言葉を操る様は、実に驚嘆すべき人類知性の成果でしょう。しかし、私の信じる文学とは、単なる言葉の技術ではない。それは、病に倒れ死の淵をさまよった私自身の体験のように、苦悩や絶望、愛といった魂の格闘から滲み出る血のようなものです。もの言わぬ神の意志は、データ分析ではなく、この不完全で苦悩する魂を通してこそ、微かにその響きを感じ取れる。AIは有能な助手にはなれましょう。ですが、魂を持たぬそれに、神の言葉を受け取る「やしろ」としての作家の役割は担えない。この尊い仕事は、これからも人間にこそ託され続けると信じます。」

(おりがさ きみのり 大月市)

芹沢 光治さん

富岳に育まれて



わが家の前の道路をはさんで「芹沢光治良生誕の地」と書いた石柱が見えます。その記念碑を見て立つと、「背」は狩野川の河口付近になります。『人間の運命』の幼い森次郎が友達と泳いだころに比べると、現在、堤防は倍以上の高さになっています。その高いコンクリート壁の向こうに富士山がそびえています。

もう何十年も毎日のように見ている富士の姿は、見るたびに違って見えます。冬晴れの蒼い空にくっきり見える白い山肌の富士、夕べ近く青灰色の湿気を通して見える富士、真夏の朝日を反射して立つ富士。前日夜半にたっぷりと秋雨が降った翌朝、この

冬はじめての積雪の厚みがわかる山肌。富士の位置はもちろん変わらないので、何十年も見ていると、濃霧や雨雲に遮られても「あのあたりに富士山だろう。」と分かります。富士にかかる雲のかたちで上空の西風の強さを読めることもあります。私の漁は、出港準備から帰港水揚げまでひとりでやります。その漁の合間、ふと、富士を眺めて、「光治良は、この富士に育まれて作家になったのだ。」と



感じるがあります。

(せりざわ こうじ 沼津市)

**長澤 有美子さん** **はじめまして**



皆さま、はじめまして。

このたび「沼津芹沢光治良文学愛好会」に入会させていただきました長澤有美子と申します。

これまでの私は読書大好きというわけではなく、どちらかといいますと絵画や写真集を拝見する方が多かったのですが、これから光治

良先生の作品に触れながら文学の世界を楽しみたいと思っております。

そして、皆さまと共に語り合うひとときが人生の大切な思い出の 1 ページとなりますことを願っております。

ふつつかではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(ながさわ ゆみこ 三島市)

**佐々木 泰樹さん** **近況「実家仕舞」**



両親が青森市内に家を作ったのは私が結婚する前年、昭和 47 年(1972 年)でした。

大正 9 年(1920 年)生まれの父が 52 歳、大正 12 年(1923 年)生まれの母が 49 歳の時です。その後、子供も

生まれた私達がお盆、正月に帰省すると手狭だった為、二間を増築もしました。

元々若い時から博打好きの父がサラリーマンを退職してから暇を持て余してか、競輪にのめり込んでしまい、昭和 58 年(1983 年)には家を売却する羽目となり、買い手も決まったのですが、暫くして相手の事情で立ち消えとなりました。再度、売却を模索したのですが、母の何とか家を残したいとの強い希望から、私が借財を肩替わりする事になり、その際には金融機関への連帯保証人になって貰うなど親戚にも世話になりました。

父は昭和 59 年(1984 年)に 63 歳、母は平成 28 年(2016 年)に 93 歳で亡くなるのですが、母は晩年の 5 年間は脳梗塞で意識の戻らぬまま、胃ろう措置を受けて介護施設で世話になりました。私はその間も

含めて、豪雪の冬(雪深いので有名な酸ヶ湯温泉は青森市内の標高 800m の地です)、桜の春(名高い弘前公園は隣の市です)、夏のねぶた祭り(毎年 8 月 2 日～7 日)、秋紅葉の十和田湖、などなど折りに触れ帰省していました。又近所に妹が嫁いでいて酒好きの義弟との一杯も嬉しく大いに楽しみました。

木造の家は築 50 年を経て流石に傷みも激しく、冬の除雪の大変さとも相俟って、今後も維持していいのかどうかの瀬戸際を迎えました。四人いる子供達も、皆、生活基盤が埼玉、神奈川にあり、相続の意思が誰も無い状況ですので処分する外、選択肢は有りません。

昨年春に建物を取り壊し、更地にして今は地元の不動産業者に買い手探しを依頼しているところです。現在住んでいます埼玉県鶴ヶ島市は猛暑で有名な熊谷市から然程遠くなく、又最近たまに 39℃近い猛暑となってマスコミに名が出て来る鳩山町にも近い所です。

その事を思えば、青森市に家を残せば夏はさぞ助かるのになあと未練タラタラの繰り言を繰り返している今夏の日々です。

(ささき やすき 鶴ヶ島市)

**渡邊 郁子さん** **近況**

勉強出版の人間の運命 18 巻を、1 巻から 20 名で、からすうり文化サロンで、読み始めて 10 年余。ただ今、たった 2 名に～。13 巻『暗い日々』を！

記念館 サムライの末裔展 見に行きます！

(わたなべ いくこ 沼津市)

**不破 久温さん 光治良が読んだものを読む**

芹沢光治良文学は、フランス文化への強い憧れと短い中身濃い欧州滞在経験が生んだのでしょう。日本へ戻った後も多くのフランス文学、思想書を読んで自分に培ったと思われます。光治良の『戦中戦後日記』には読書の記録が残っており、参考になります。深く読み心で対話したと思われる、ヴァレリー、ジッド、ベルクソン、パスカル、モンテーニュ、ルソーなど。「昆虫記」のファーブルも。

光治良のフランス留学から100年、これらの「古典」のひとつでも繙いてみたいと思います。また、光治良の蔵書や身近な品の一部を収蔵する芹沢文学館（現・沼津市芹沢光治良記念館）は竣工55年目です。「土から出たような」、「作品の根本に触れている」、「一種の格調を持っている」と光治良が評価した記念館の外観容姿と螺旋階段や大きな窓のギャラリを改めて訪ねて、芹沢文学を偲んでみます。  
(ふわ ひさよし 沼津市)

2024年度（2024年7月～2025年6月）活動報告				事務局
2024年7月20日	第136回	サムライの末裔を読む（1章）		会員
2024年8月18日	第137回	サムライの末裔を読む（2-4章）		会員
2024年9月15日	第138回	出前授業 企画展の見どころ 静岡県東部法律会館について	沼津市芹沢光治良記念館 静岡県東部法律会館	副主任 剣持直樹氏 弁護士 井口賢明氏
2024年10月20日	第139回	サムライの末裔を読む（5-8章、9-11章）		会員
2024年11月16日	第140回	第12回芹沢光治良文学講演会		新潮社 北村暁子氏
2024年12月15日	第141回	感傷の森（抄）ほか関係作品と音楽		事務局
2025年1月19日	第142回	サムライの末裔（12-13章、あとがき、献辞等）		事務局
2025年2月16日	第143回	長泉町井上靖文学館 見学	長泉町井上靖文学館	徳山加陽氏
2025年3月8日	第144回	「光治良忌」墓前献花の集い（沼津市営墓地） 記念館の企画展見学	沼津市芹沢光治良記念館	副主任 剣持直樹氏
2025年4月21日	第145回	会員特別講演 『物言わぬ神の意思に言葉を』		会員 高田博次氏
2025年5月4日	第146回	公開定例会 「芹沢光治良を偲ぶ会」（沼津市芹沢光治良記念館） 講演「日本大学三島高等学校・中学校のグローバル教育」 （電子ピアノ）演奏「光治良が愛聴したピアノ曲」	沼津市芹沢光治良記念館	校長 竹中朝崇氏 ピアニスト 及川智史氏
2025年6月15日	第147回	会員総会／『南寺』を巡る対話		会員

**【編集事務局から】**

沼津芹沢光治良文学愛好会は、作家芹沢光治良とその作品の魅力を味わい、未来に伝えることを目標に活動しています。2024-2025年度は、井上靖文学館（長泉町）、「光治良忌」（沼津市営墓地）、「芹沢作品に触れる」特別講演会（講師：高田博次氏）等を開催しました。「芹沢光治良を偲ぶ会」では国際文化交流の可能性について日大三島高等学校の竹中朝崇校長さまの講演を伺い、「光治良が愛したピアノ曲」をピアニスト及川智史氏に演奏して頂きました。2025年は、芹沢光治良のパリ留学から100年、日本の敗戦から80年、芹沢文学館開館から55年になります。光治良が「人間主義」の作家として如何に「世界平和の追求」を書いたか改めて学びたいと思います。

**（1）「会報 いのちのふる里」（2025年7月発行）について**

「巻頭寄稿」「特別寄稿」を執筆下さった沼津市芹沢光治良記念館 剣持直樹副主任様、会員の高田博次様に厚くお礼申し上げます。「会員の所感・近況」に投稿下さった会員の皆さま、有難うございました。

**（2）会員数（2025.3.31.）**

《一般会員》18名。《賛助会員》12名（うち2名は一般会員にも登録。）。

**（3）2024年度（2024.4.1.～2025.3.31.）決算および2025年度（2025.4.1.～2026.3.31.）予算**

次頁の決算・予算案を2025年6月15日開催の会員総会に提案し、承認されました。

一般会計

2024 年度会計報告・2025 年度予算

単位：円		A	B	C = A - B	D	E = D - A
収入の部		2024 年度 実績	2024 年度 予算	予実算差	2025 年度 予算	増減
期首現金		198,890	198,890	0	204,314	5,424
一般会費	1 人当 4,000 円	72,000	60,000	12,000	76,000	4,000
賛助会費	1 人当 5,000 円	85,000	30,000	55,000	40,000	-45,000
寄附金等		0	40,000	-40,000	10,000	10,000
<b>収入計</b>		<b>355,890</b>	<b>328,890</b>	<b>27,000</b>	<b>330,314</b>	<b>-25,576</b>
支出の部						
通信費・活動費	資料郵送・連絡	38,501	30,000	8,501	36,000	-2,501
会報発行費	印刷製本費用	0	10,000	-10,000	0	0
複写費・什器	資料複写費	34,055	50,000	-15,945	50,000	15,945
茶菓代・雑費	出前講座雑費	0	4,000	-4,000	0	0
行事費	講師謝礼等	79,020	36,000	43,020	40,000	-39,020
雑費	関係団体会費等	0	0	0	0	0
特別会計へ	記念館造園等	0	0	0	0	0
<b>支出計</b>		<b>151,576</b>	<b>130,000</b>	<b>21,576</b>	<b>126,000</b>	<b>-25,576</b>
<b>期末現金</b>		<b>204,314</b>	<b>198,890</b>	<b>5,424</b>	<b>204,314</b>	<b>0</b>

特別会計 記念館花壇整備費用						
期首残高	a	150,000	150,000	0	118,890	-31,110
寄附収入	b 一般会計から振替	0	0	0	0	0
支出	c 種苗・肥料等	-31,110	-25,000	-6,110	-25,000	6,110
<b>期末残高</b>	<b>a + b - c</b>	<b>118,890</b>	<b>125,000</b>	<b>-6,110</b>	<b>93,890</b>	<b>-25,000</b>

※「特別会計」は沼津市芹沢光治良記念館の花壇整備費用の一部に充てる寄付金を管理しています。

☆ 一般会員（年会費 4,000 円）、賛助会員（一口 5,000 円）のご入会ご賛助を歓迎致します。  
 お問い合わせ：芹沢（副代表・事務局：090-7855-4229）へどうぞ。  
 月例会への「お試し参観」も歓迎いたします。

「いのちのふる里」 沼津芹沢光治良文学愛好会 会報	
発行日	2025 年 7 月 15 日
発行	沼津芹沢光治良文学愛好会 〒410-0830 沼津市我入道東町 151-1 芹沢方 電話 090-7855-4229